

# 行政報告

第1回町議会臨時会（3月6日）より「町立診療所の医師の交代について」ほか2件、第1回町議会定例会（3月11日）より「本別町生活維持路線バス本別・浦幌線の運行について」を報告します。



行政報告する水澤町長

## ■第1回臨時会

### 行政報告

## 町立診療所の医師の交代について

現在、町立診療所の所長を務めて頂いております上林医師との契約履行期限が本年3月末をもって終了することから、新たに常駐できる医師の確保について、多方面に協力を要請し、努めて参りましたが、このたび、北海道地域医師確保推進室及び北海道地域医療振興財団の協力を得て、その実現を図ることができ、本年2月19日付

けを持って新任の医師と契約を行ったところであります。

新任の医師につきましては、東京大学医学部医学科卒業で、秋田県男鹿みなど市民病院に勤務されておられます菅原陽一医師で、3月25日に着任し、4月1日から町立診療所における診療にあたって頂く予定になっております。

菅原医師におかれましては、当面3年間の委託期間であります。菅原医師の地域医療に対する熱い思いから引き続き町立診療所における医療に携わって頂けることと町として大きな期待を寄せているところであります。

上林医師におかれましては、あと1か月を残すところとなりましたが、2年3箇月にわたり、町立診療所において町民の生命に関わる地域医療に日夜、献身的に携わって頂き、町として深く感謝を申し上げる次第であります。今後とも指導、ご鞭撻を賜りますようお願いしたいと思っております。



町民の生命を守る町立診療所

## 排雪作業中における事故について

### 行政報告

平成21年2月24日、午後2時10分頃町道栄通において排雪作業中に、前方の町道がごみ収集作業中でふさがっていたため、ダンプを後退させた際、後方確認が不十分だったため、町道に駐車中の車両後部に接触してしまい、相手車両の後部を破損させてしまいました。

相手車両の損傷部分の修理費用に

つきましては、現在見積中でありますが、自動車損害共済の対物保険で対応するよう手続きを行っているところであります。

このたびの事故につきましては、相手車両が駐車中だったため運転者双方に怪我はなく、物損のみで大事に至ることはありませんでしたが、職員の不注意により事故を起こしたことに對しまして、心からお詫びを申し上げます。深く反省するとともに、職員に安全運転の励行を強く喚起し、事故防止の徹底に努めて参ります。

### 行政報告

## 浦幌町公民館の耐震診断結果の報告について

浦幌町内の公民館を対象に実施いたしました耐震診断が終了いたしましたので、その結果等についてご報告いたします。

この耐震診断は、建築物の耐震改修の促進に関する法律の規定に基づき、昭和56年に施行された改正建築基準法に規定された耐震基準に対し、どの程度の耐震強度を保有しているのかを診断するもので、公民館は、建築基準法第6条第1項第3号に規定する木造以外の建築物で2以上の階数有し、又は延べ面積が200平方メー



行政報告する岡崎教育委員長

トルを超えるものを適用して、不特定多数の方々が利用し、地震災害時の避難施設としても利用されることから診断を行ったものであります。

耐震診断の方法は、2001年改訂版による既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・同解説に準拠して、建物各階、桁行、梁間両方向に対して耐震診断計算を行い、構造耐震指標<sup>アイヌス</sup>を算定し、これと構造耐震判定指標<sup>アイヌス</sup>とを比較することにより、建物の構造耐震性を判定いたしました。

その結果、4公民館すべてについて、構造耐震指標<sup>アイヌス</sup>値が構造耐震判定指標<sup>アイヌス</sup>0.0・6を超えており、地震の震動又は衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低いと判定され、

耐震補強工事の必要がないことが判りましたのでご報告いたします。

なお、中央公民館及び上浦幌公民館につきましては、今後、国からの地域活性化・生活対策臨時交付金を活用し、外部改修、内部の一部改修、階段電動昇降機の設置等の改修を実施すべくこのたびの町議会臨時会に補正予算として関連予算を提出しておりますので、よろしくお願い申し上げます。

また、吉野公民館及び厚内公民館につきましては、釧路産炭地域基盤整備事業補助金を活用して、平成21年度に外部改修等を計画しておりますので、合わせてよろしく申し上げます。



中央公民館で開催された「浦幌女性あいフェスティ」

## ■第1回定例会

### 行政報告

## 本別町生活維持路線バス本別・浦幌線の運行について

このたび、本別町より夜間の公共交通空白地域における移動手段を確保するため、生活維持路線の整備を図り、もって地域住民の福祉及び利便の向上に資することを目的に、本別町が運行主体となり、本別町国保病院から旧ふるさと銀河線本別駅・上浦幌を経由してJR浦幌駅に至る路線バスの運行を4月より開始したい旨の連絡がありました。

現在、本別町国保病院と浦幌町留真間には、十勝バスによる市町村生活路線バスが朝・昼・夕三往復しており、主に上浦幌地区の本別町国保病院通院者と本別高校通学者などが利用されており、平成19年10月から平成20年9月の一年間では延べ1778人が利用しています。

増便されるバスにつきましては、始発の本別町国保病院を午後7時5分に発し、午後7時55分にJR浦幌駅に到着し、その後本別町国保病院に向かう一往復の運行です。運行日につきましては、本別高校のクラブ活動日や学校事業と連動させた利用頻度を考え、年度当初に運行予定日として18

0日程度を示し、且つ極力カラ運行を防ぐために事前予約制とし、また、乗車券につきましても事前購入していただくとのことです。

本町にとりましても、浦幌・本別間のバスの増便につきましては、交通弱者の移動手段の確保が図れるという観点から、一部経費の負担について本別町と協議を進めており、現段階における試算では、運行経費280万8千円の内、運賃収入を除いた3分の2を本別町、3分の1を本町が負担するというもので協議を進めているところです。運行経費については、生活維持路線バスということで、8割が特別交付税措置されますので、年間およそ16万4千円が本町の一般財源からの持ち出しとなります。

今後、本別町との協議を重ね、関連予算につきましては、平成21年度補正予算において対応したいと考えておりますので、よろしく申し上げます。